

2022年1月7日

日本産科婦人科学会主催
「子宮頸がん予防WEBカンファレンス：
HPVワクチン積極的接種勧奨再開後、私たちがすべきこと」

公益社団法人日本産科婦人科学会

理事長 木村 正

子宮頸がん検診・HPVワクチン普及推進委員会 委員長 宮城 悅子

HPVワクチン接種勧奨差し控えの中止が決定し、2022年4月より勧奨再開が正式に開始となります。昨年に引き続き、日本産科婦人科学会では、子宮頸がん予防に関するWEBカンファレンスを開催することとなりました。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日 時: 2022年2月7日(月)18:00-20:00
- タイトル :
「子宮頸がん予防WEBカンファレンス：HPVワクチン積極的接種勧奨再開後、私たちがすべきこと」
- 開催方法:オンライン(ZOOMウェビナー)※後日オンデマンド配信もいたします
- 参加対象:メディア関係者、学会関係者、学校関係者、国会議員、地方議員、自治体関係者、予防啓発/患者団体、医療従事者等
- 定 員:300名(事前申し込み制・先着順)
- 締 切: **2022年2月3日(木)17:00**※定員になり次第締め切りとさせていただきます
- 参 加 費:無料
- プログラム(※敬称略)
 1. 開会挨拶
/木村 正(日本産科婦人科学会理事長)
 2. 「HPVワクチンの積極的勧奨再開と今後の展望」
/吉川 裕貴(厚生労働省健康局健康課予防接種室参与・国立成育医療研究センター研究医療課長)
 3. 「HPVワクチンが長期に有効性が継続する理由:新型コロナウイルスワクチンとの違いは」
/川名 敬(日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野主任教授)
 4. 「HPVワクチンの最新知識」
/工藤 梨沙(新潟大学医歯学総合研究科産科婦人科学教室助教)
 5. 「機能性身体症状への対応について」
/小柳 憲司(長崎県立こども医療福祉センター副所長兼医療局長)
 6. 「地方自治体が果たす役割」
/種部 恒子(富山県議会議員、女性クリニック We! TOYAMA 代表)
/夏目 亜季(荒川区議会議員、子宮頸がんサバイバー)
 7. 「子どもたちの健やかな成長のために学校現場ができること」
/坂本 由紀江(横浜市性教育研究会副会長)
 8. 「総合討論・意見交換」
/ファシリテーター:日本産科婦人科子宮頸がん検診・HPVワクチン普及推進委員会委員

【参加申し込み方法】

申込フォーム(<https://business.form-mailer.jp/fms/6ea2b7f5146171>)
または下記記載事項を明記の上、hpv20220207@gmail.comまでお申し込みください。
後日、ご視聴用のURLを事務局よりお送りさせていただきます。

(申し込み記載事項)

- ①. 代表者名
- ②. ご視聴人数
- ③. メールアドレス
- ④. ご職業
- ⑤. ご所属先名
- ⑥. お聞きになりたいこと(任意)

※当日、ZOOMウェビナーのQ & A機能を使ってもご質問いただけます

締め切り:2月3日(木)17:00



〈申込フォーム QR コード〉

【ご参加にあたってのお願い】

- ①. 配信内容の録画、録音、撮影については禁止とさせていただきます。
- ②. できる限り多くのご質問にお答えできるよう努めてまいりますが、すべてのご質問にお答えできないことがございます。あらかじめご了承ください。
- ③. 運営の支障をきたすようなコメントや行動が見られた場合は、運営側で参加を取り消させていただきます。

(本件の問い合わせ先)

子宮頸がん予防WEBカンファレンス事務局
(土日祝日を除く 10:00から17:00)
Mail hpv20220207@gmail.com